IMP388

スズキ・ジムニー専用キャリア

取扱説明書

SEIWA / BURNOX

この度は弊社製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。ご使用の前に本書（取扱説明書）をよく読み、製品を安全にお使いください。
※この取扱説明書については、予告なしに変更することがあります。
※製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
※掲載されている写真やイラストは全てイメージです。
※記載されている商品名及び社名は各社の商標または登録商標です。

はじめに

●本製品はスズキ・ジムニー(JB64/74)専用品です。
●本製品は車種専用ですが、製品や車体の個体差により、多少がたつきが発生する場合があります。
●本製品は荷物用の積載キャリアです。

安全にご使用いただくために

●本製品の取り付けは正しく行い、走行前に本製品が確実に取り付けされていることを確認してください。取り付けが不完全なままご使用になりますと脱落等による事故の原因になります。
●下記の警告・注意をお読みの上、正しくご使用ください。警告・注意に従われない場合など、誤ったご使用をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、当社では一切その責任、保証は負いかねます。

1 安全上の注意

⚠ 警 告 この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

●本製品は上記車種専用品です。その他車種には取り付けないでください。
●指定の取り付け場所以外には取り付けないでください。
●本製品に耐荷重以上の荷物を乗せないでください。本製品や車両に変形が起こり、荷物の落下などや、使用者の事故につながる危険性があります。
●本製品装着時、最高速度は法定速度以下に抑え、急旋回、急ハンドル、急発進、急ブレーキを避け運転には十分ご注意ください。
●荷物積載時には悪路等において過度な運転をすると車体のルーフが変形するおそれがありますので、絶対に過度な運転はしないでください。
●荷物積載時は車高が高くなりますので、屋根付きの駐車場、トンネル、高架等の高さの制限のある場所では車高が制限内であることを確認してください。
●組み立ての際に本製品を壁などに立て掛けないでください。転倒して怪我につながるおそれがあります。

⚠ 注 意 この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合及び物的損害の発生が想定される」内容です。

●組み立ては必ず二人以上で行なってください。
●本製品取り付けの際は必ず各部品が固定されているのを確認してください。固定が不十分だと、破損の危険性があります。
●本製品を使用するときは毎回点検を行い、構造部材の変形や破損、異常がないか確認してからご使用ください。
※異常を感じたときは使用しないでください。破損や事故、怪我の原因となります。
●本製品を取り付け・使用の際、車両側に使用前との変化が生じた場合の故障、損害（破損・キズ・変色・跡等）は当社では責任、補償を負いかねます。
●取り付け作業時の車両へのキズ防止の為、必要に応じてマスキングをしてから作業を行ってください。
●本製品に無理な力や衝撃を与えないでください。本製品や車両側が破損する場合があります。
●金属部の錆の原因となりますので、濡れたり水気を帯びた場合は、そのまま放置せずに拭き取って乾燥させてください。
●本製品はオフロード（不整地）、ラリー車専用ではありませんので、連続した強い衝撃・振動がかからないようにしてください。
●本製品装着時は洗車機での洗車はできません。洗車機での洗車により、製品へのキズ、ルーフの変形等がおこる可能性があります。
●本製品を改造しないでください。改造により発生した事故やケガ、またはそれに起因する損害については、当社では一切の責任を負いかねます。
●最低でも月に１度を目安に各締め付け部の緩みや破損部分がないなどを点検していただき、必要に応じて増し締めを行ってください。特に悪路や高速走行前後には必ず点検をしてください。

使用上の注意

●耐荷重は**100キロ以下**です。積載時に十分安全を確認してお使いください。
●取り付け部に緩みがあると、異音、干渉、事故、怪我などの原因になります。定期的に全てのボルトを点検及び増し締めしてください。
●走行中に本製品からガタつき音等の異常音が生じた場合は速やかに停車し、本製品の状態を確認してください。
●本製品は荷物の積み込み等の用途以外には使用しないでください。
●荷物は一ヶ所に荷重が掛からないよう分散して積載し、必ずロープやベルトなどで固定してください。
●荷物が本製品からはみ出す場合ははみ出し量は前後均等にはみ出すようにしてください。
●荷物を本製品に固定する際はクランプ及びフェンスを利用してロープ等で固定しないでください。
●荷物の重量の配分は左右どちらかに片寄らないようにできるだけ均等に平坦に積載してください。
●荷物を本製品から乗せたり、下ろしたりする際は本製品に衝撃がかからないようにゆっくりと行ってください。

【積載物の大きさに関する注意】
●自動車に本製品を装着した状態で荷物を積載し公道等を走行する場合は下記「道路交通法施行令第22条3項」に定める「積載物の大きさ」を超えないよう注意してください。
長さ：自動車の長さに10分の1の長さを加えたもの(自動車の全長の1.1倍以下とする)
幅　：自動車の幅(自動車の前幅以下とする)
高さ：3.8m(軽自動車は2.5m)からその自動車の積載する場所の高さを減じたもの
　　(自動車+フラットトラック+積載物を3.8m(軽自動車は2.5m)以下とする)

メンテナンスについて

●本製品の塗装にキズ等がつきましたら、車用補修塗料等で修復をしてください。放置しますと錆発生の原因となります。
●汚れを拭き取る場合は中性洗剤を使用し、柔らかい布かスポンジで拭き取ってください。レザーワックス、タイヤワックス、シンナー等有機溶剤は使用しないでください。
●保管する際は綺麗に清浄し、水気のないところで保管してください。

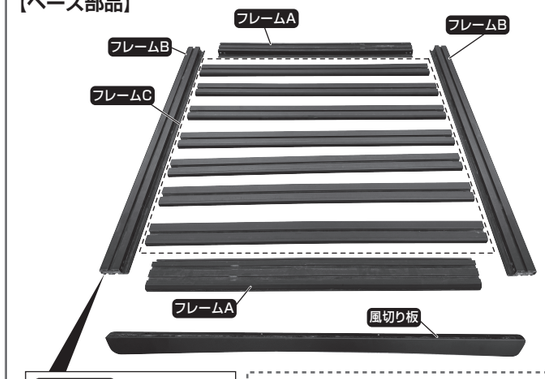
開封と内容物の確認

●開封後、下記の「セット内容」を参考に内容物の確認をお願いします。

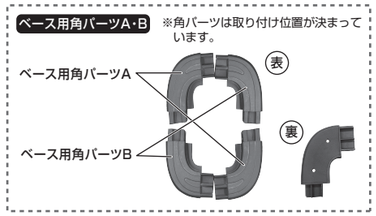
セット内容	本製品の構成と名称		
【ベース部品】	フレームA × 2	フレームB × 2	ベース用角パーツA × 2
	フレームC × 7	風切り板 × 1	ベース用角パーツB × 2
【フェンス部品】	フレームD × 2	フェンス用角パーツA × 2	
	フレームE × 2	フェンス用角パーツB × 2	
【その他部品】	クランプ × 6	クランプベース × 6	
	柱パーツA × 5	柱パーツB × 5	
	レール用ゴム(大) × 1セット	レール用ゴム(小) × 14	
	トルクスネジ(14mm) × 16	トルクスネジ(10mm) × 14	
	ワッシャー(M8) × 6	ワッシャー(M6) × 14	
	T型ボルト(29mm) × 12	T型ボルト(21mm) × 48	
	ナット × 56	レールナット × 14	
	リングナット × 6	プラスネジ × 16	
	キズ防止用ゴム × 6	トルクスレンチ × 1	

※トルクスネジ(14mm)、トルクスネジ(10mm)、ワッシャー(M8)、ワッシャー(M6)、T字ボルト(29mm)、T字ボルト(21mm)、各ナット、プラスネジは多く入っている場合があります。予備としてご保管ください。
※キズ防止用ゴムはお好みでクランプに取り付けてください。

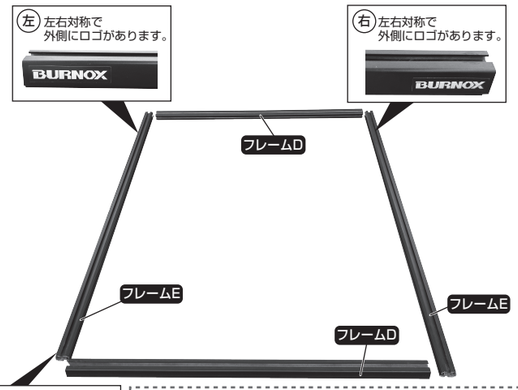
【ベース部品】



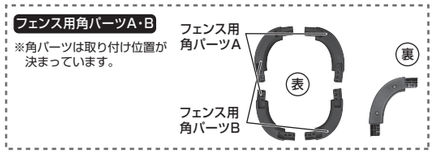




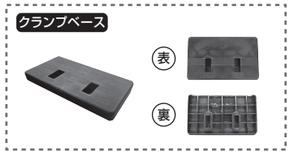
【フェンス部品】

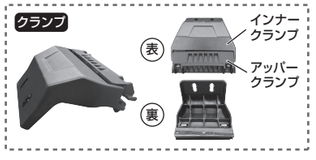


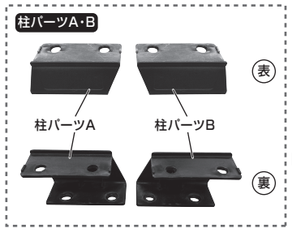




【その他部品】

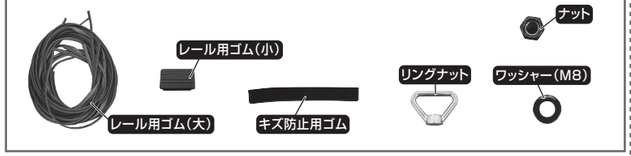








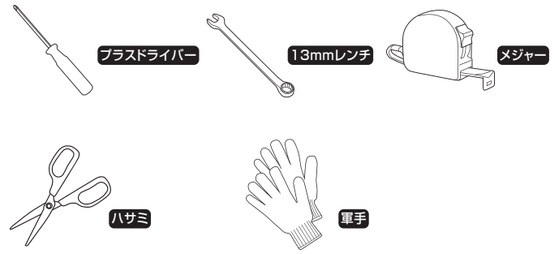




2 組み立て前準備

道具の準備

●取り付けに必要な下記の道具をご準備ください。



※組立場所(十分広い平らな場所)を確保してください。
※床や壁、本製品をキズつけないように本製品の下に段ボールなどを敷いて作業を行ってください。

レール用ゴムのカット

●レール用ゴム(大)を下記の寸法通りにメジャーではかり、必要本数をハサミで切ってください。
※残りのレール用ゴム(大)は本製品組立後にお好みでお取り付けください。

長さ1000mm × 7本	長さ1230mm × 6本	長さ1060mm × 4本

キズ防止用ゴムの取り付け

●キズ防止用ゴムをクランプのインナークランプ先端に取り付けてください。
※取り付けの際はキズ防止用ゴムを引っ張るようにしてクランプに取り付けてください。

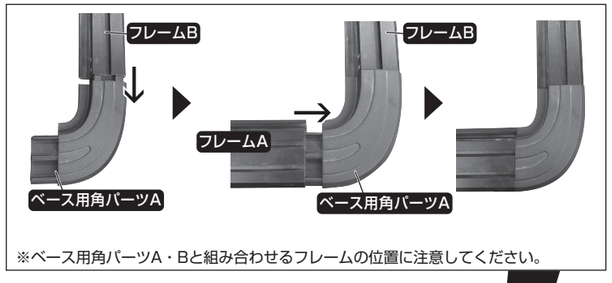


3 本製品の組み立て

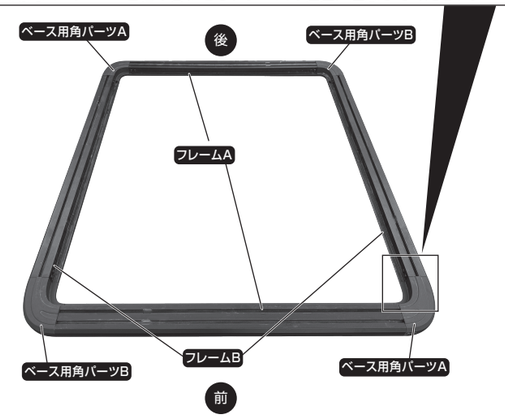
※本製品の組み立ては平らなところで行なってください。
※ボルト、ナットをしっかりと締めてください。また定期的に増し締めをしてください。
※手を傷つけるおそれがありますので、必ず軍手などをはめて作業してください。

ベースの組み立て

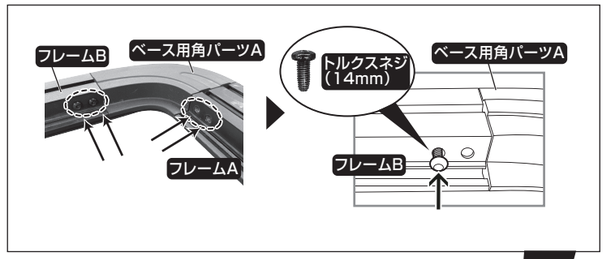
①フレームA、フレームB、ベース用角パーツA、ベース用角パーツBを下図の手順で組み立ててください。
※ベース用角パーツBも同様に組み立ててください。

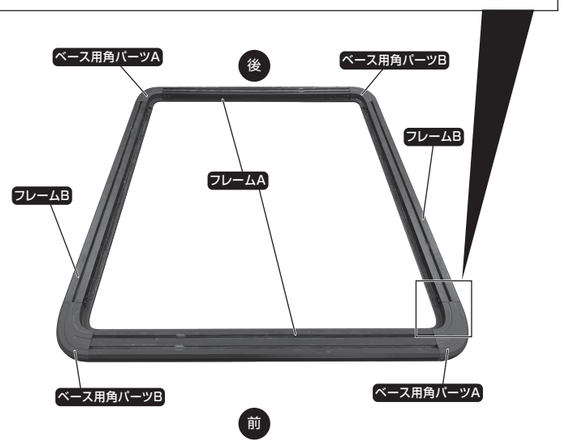


※ベース用角パーツA・Bと組み合わせるフレームの位置に注意してください。

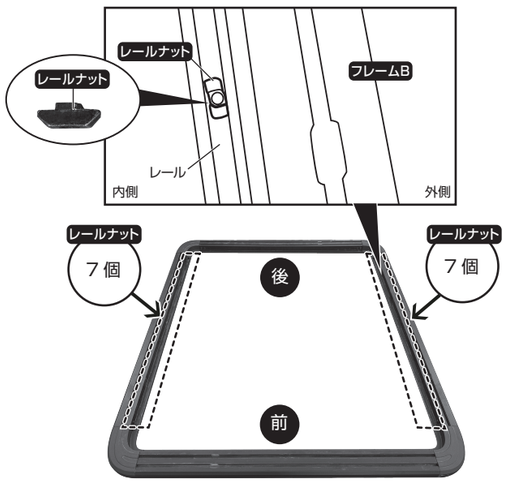


②組み立てた各パーツをトルクスネジ(14mm)を使用して角パーツ１個につき４箇所固定します。
※トルクスネジ(14mm)の固定にはトルクスレンチを使用してください。





③組み立てたフレームBの内側のレールに左右７個ずつレールナットを均等に入れます。



④フレームCを下記の通りの位置に取り付けてください。(下図参照)

取り付け向き

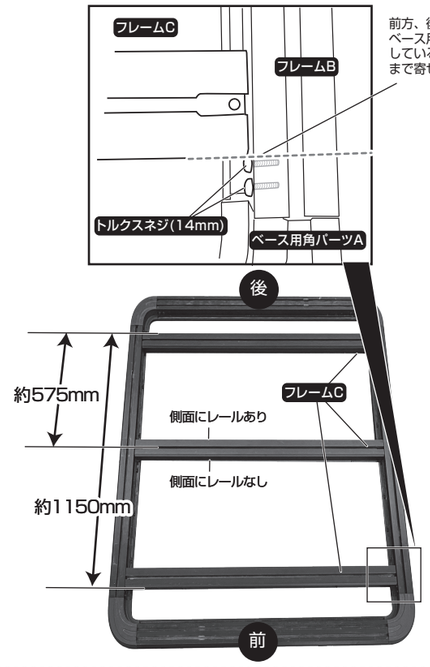
●フレームCは片側側面にレールがありますが、取り付けの際はレールのある側面を後方にして取り付けてください。

前方、後方の位置

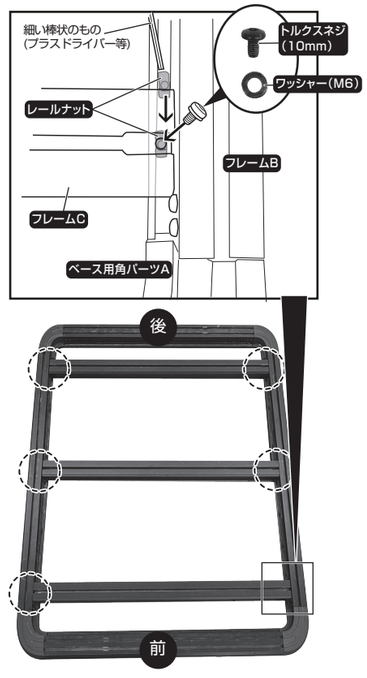
●フレームB、ベース用角パーツA・Bの組み立ての際に取り付けたトルクスネジ(14mm)にフレームCを合わせて取り付けてください。
※下図は前方右側で説明していますが、後方も同様です。

中央の位置

●前方、後方に定めたフレームCの真ん中に、中央のフレームCを取り付けてください。
※寸法を測る際はメジャーを使用してください。
※前後のフレームCを測る際は、一番外側から計ってください。



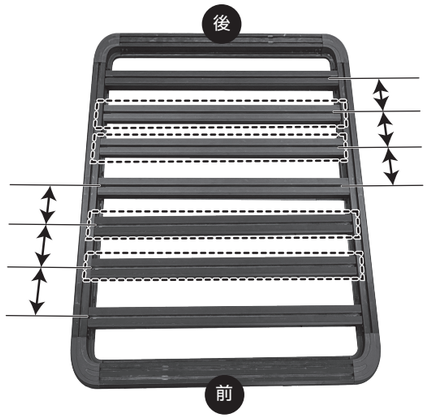
⑤位置を定めた前方、後方、中央のフレームCのネジ穴をフレームBの内側のレールに入れたレールナットと挟み込み、ワッシャー(M6)を通したトルクスネジ(10mm)で固定します。
※フレームBに入れたレールナットは細い棒状のものをレールの隙間に入れ、横からスライドさせて移動させてください。
※トルクスネジ(10mm)の固定にはトルクスレンチを使用してください。
※フレームCのネジ穴6か所全て固定してください。
※フレームCは全部で7本取り付けます。レールナットの掛け違いにならないように、フレームC固定時にはレールナットの位置の割り振りを考慮して取り付けてください。



⑥⑤で固定したフレームC３本を目安に残りのフレームC４本を前方のフレームCと中央のフレームCの間に２本、後方のフレームCと中央のフレームCの間に２本入れます。③同様にフレームCのネジ穴をフレームBの内側のレールに入れたレールナットと挟み込み、ワッシャー(M6)を通したトルクスネジ(10mm)で固定します。
※フレームCは側面のレールが後方になるように取り付けてください。
※トルクスネジ(10mm)の固定にはトルクスレンチを使用してください。

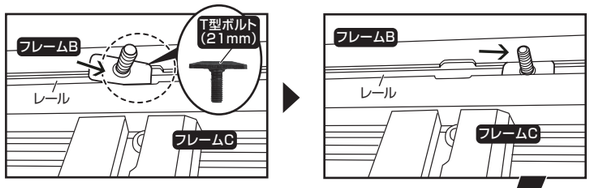
残りのフレームCの位置

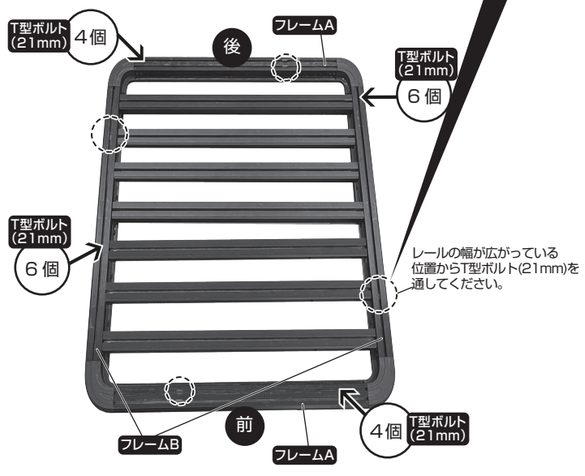
●先に設置されていた３本のフレームCに対して等間隔になるようにしてください。
※フレームCの位置が片寄らないようにご注意ください。



注意 隣り合うフレームCの距離が等間隔になるようにしてください。
フレームCの位置が片寄ってしまうと荷物の落下などの危険性があります。

⑦フレームA・フレームBでレールの幅が広がっている位置からT型ボルト(21mm)をフレームBは左右それぞれ６個ずつ、フレームAは前後それぞれ４個ずつ通します。
※フレームAのT型ボルトは内側のレールに通してください。

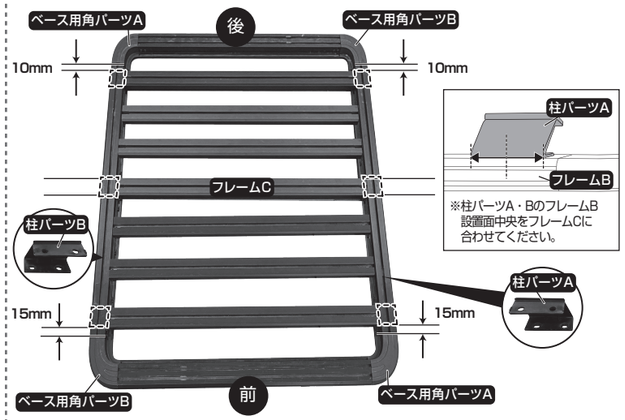




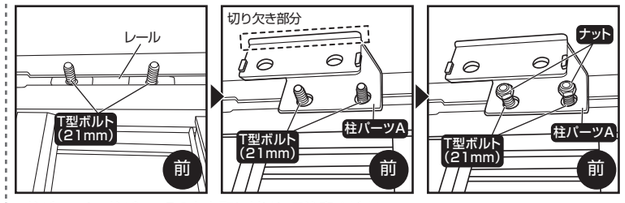
⑧下図を参考に柱パーツA・Bを左右のフレームB、前後のフレームAに⑦でレールに通したT型ボルト(21mm)に取り付け、ナットで仮固定します。

柱パーツA・Bの取り付け位置

●前から見て右側のフレームBに柱パーツAを３個、左側のフレームBに柱パーツBを３個、下記取り付け位置に取り付けてください。
※下記取り付け位置はメジャーで計ってください。

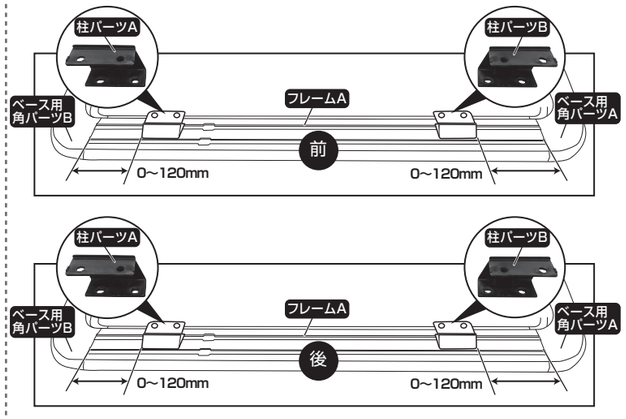


後方：後方角パーツA、角パーツBとフレームBの接触面から10mm計った位置に取り付けてください。
中央：前から４本目のフレームCの真上に取り付けてください。
前方：前方角パーツA、角パーツBとフレームBの接触面からから15mm計った位置に取り付けてください。
※フレームAの前後に取り付ける柱パーツA、柱パーツBの位置にご注意ください。



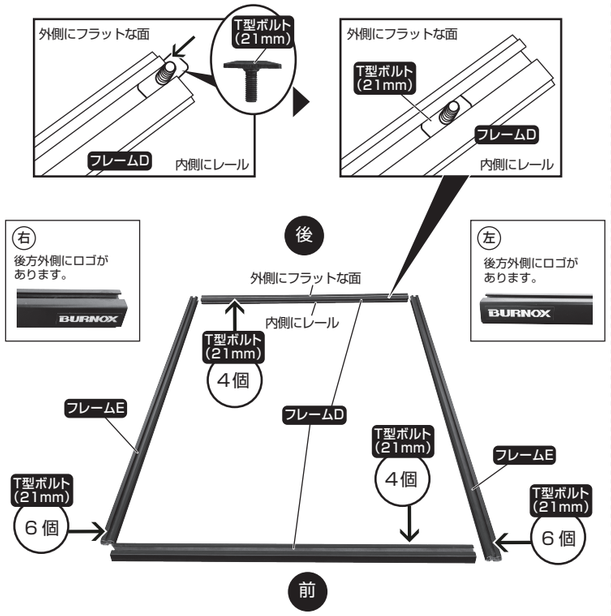
※柱パーツA、柱パーツBの左右取り付けにご注意ください。
※柱パーツA、柱パーツBは切り欠き部分が上になるように取り付けてください
※柱パーツA、柱パーツBは後ほど位置の調整をするため、ナットはきつく締めず、２～３回転させる程度に止めてください。

●前方、後方、それぞれの角パーツA、角パーツBから下記の通り計った位置に柱パーツを取り付けてください。
※下記取り付け位置はメジャーで計ってください。
※位置は0～120mmのなかでお好みの位置に取り付けてください。
※ベース用角パーツA、ベース用角パーツBからの取り付け位置の幅は左右均等になるようにしてください。

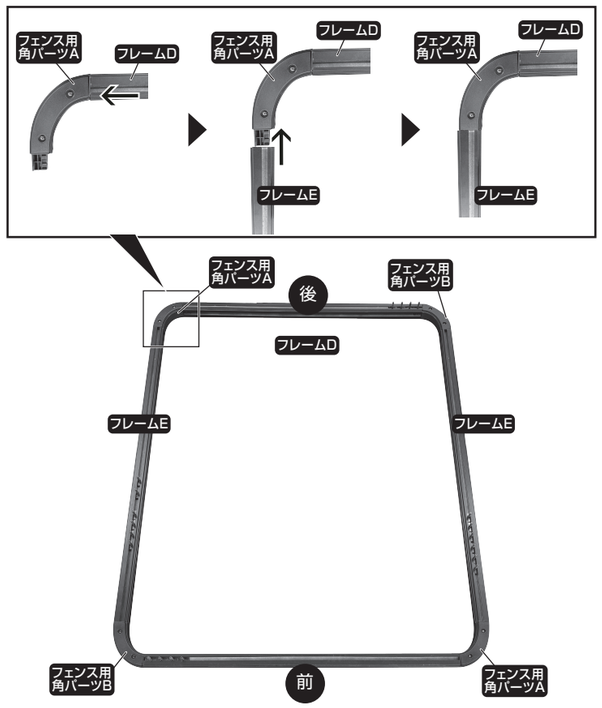


フェンスの組み立て

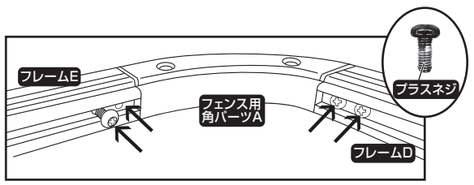
①フレームDのレールにT型ボルト(21mm)を4個おしてください(下図参照)。
フレームEのレールにT型ボルト(21mm)を6個おしてください。
※作業の際は裏側にして行ってください。



②フレームE、フレームDをフェンス用角パーツA、フェンス用角パーツBと下図の通り組み立てます。
※組み立ての際は裏側にして組み立ててください。

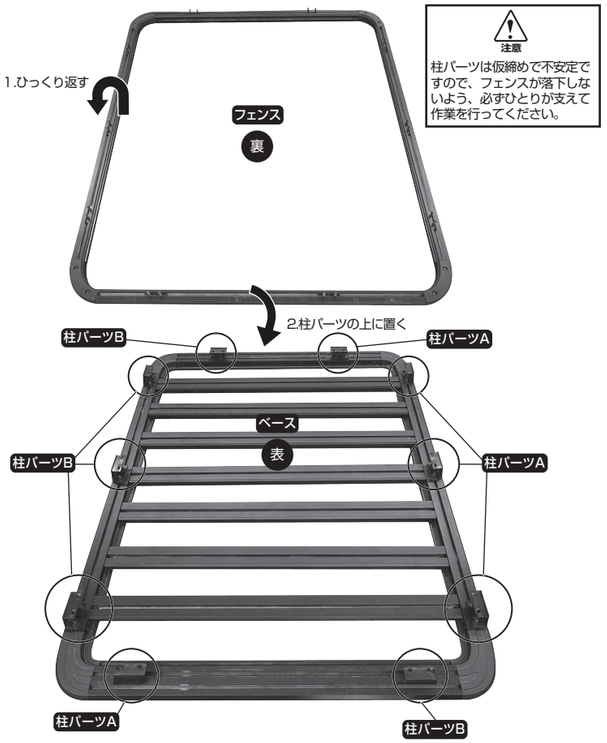


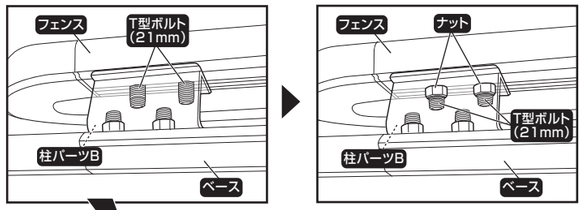
③組み立てた各パーツをプラスネジを使用して角パーツ1個につき4箇所固定します。
※プラスネジの固定にはプラスドライバーを使用してください。



ベースとフェンスの合体

①フェンスをひっくり返し、ベースの柱パーツの上に重ね合わせ、フェンスのフレームに取り付けたT型ボルト(21mm)をベースに取り付けた10個の柱パーツのボルト穴に入れ、ナットで固定します。
※フェンスのフレームに取り付けたT型ボルト(21mm)は柱パーツ1つにつき、2箇所取り付けてください。
※ナットの固定には13mmレンチを使用してください。
※T型ボルト(21mm)はレール内をスライドさせて移動させてください。
※フェンス、ベースを持ち上げる作業の際は二人以上で行ってください。

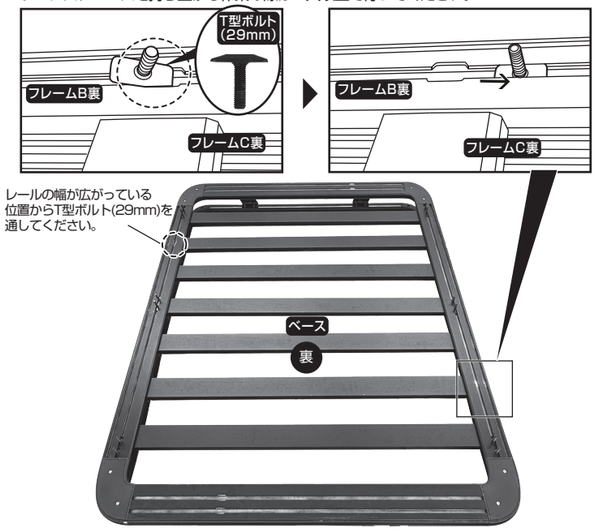




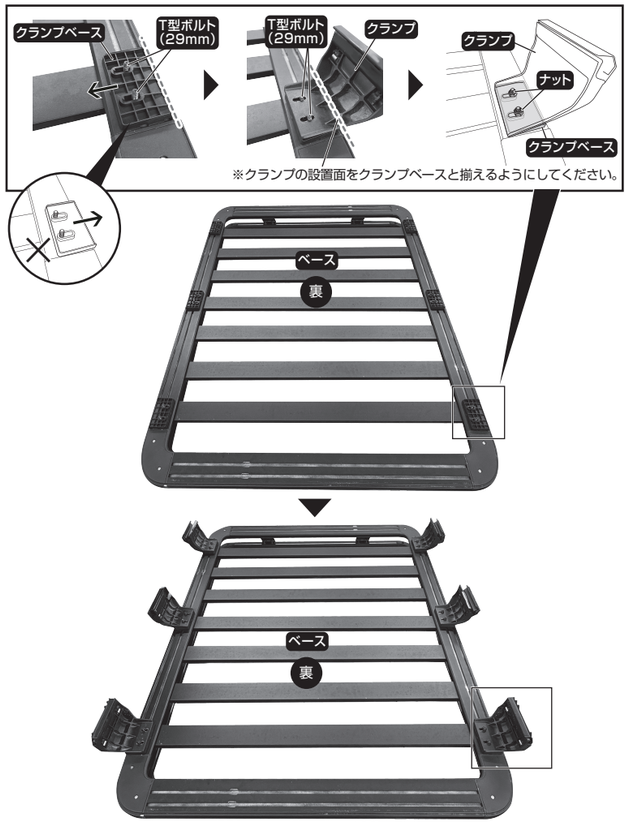


柱パーツのボルト穴にフェンスのT型ボルトが入れにくい場合は、一度ベースに取り付けている柱パーツのナットを緩めた状態で再度組み合わせてください。
柱パーツをスライドさせながら柱パーツの取り付け位置を調整し、ナットを増締めして固定してください。

②合体させたベース、フェンスを裏に向け、T型ボルト(29mm)をフレームB裏側のレールに6個ずつ通し、下図のように柱パーツA、柱パーツBの真上に2本ずつスライドさせ移動させてください。
※内側のレールにボルトを通してください。外側のレールには通さないでください。
※T型ボルト(29mm)はレール内をスライドさせて移動させてください。
※フェンス、ベースを持ち上げる作業の際は二人以上で行ってください。



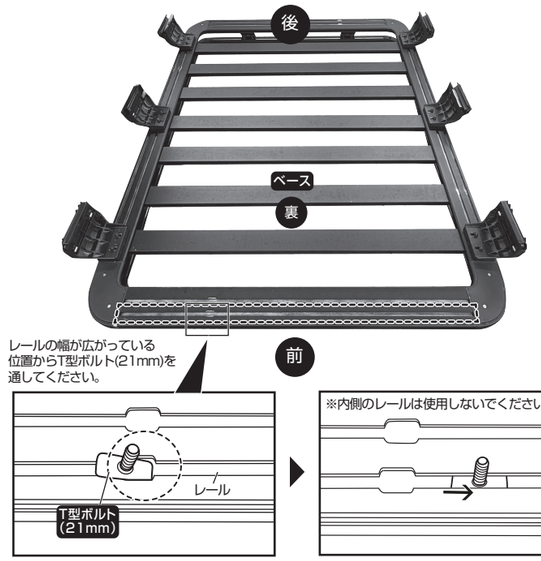
③②でレールに通したT型ボルト(29mm)にクランプベース、クランプの順番でナットで固定してください。
※ナットの固定には13mmレンチを使用してください。
※下図のようにクランプベースは傾斜がある方を外側にして取り付けてください。また、フレームBより外側に出ないように取り付けてください。



柱パーツA、柱パーツBとクランプベース、クランプの取り付け部の位置が垂直になるように位置を調節してください。

風切り板の取り付け

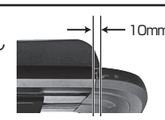
①ベースの前方にあるフレームAの外側のレールにT型ボルト(21mm)を4個通してください。



②風切り板のボルト穴を①で取り付けたT型ボルト(21mm)に取り付け、ナットで固定します。
※T型ボルト(21mm)はレール内をスライドさせて移動させてください。
※ナットの固定には13mmレンチを使用してください。
※緩みがないようにしっかりとボルトを締めてください。

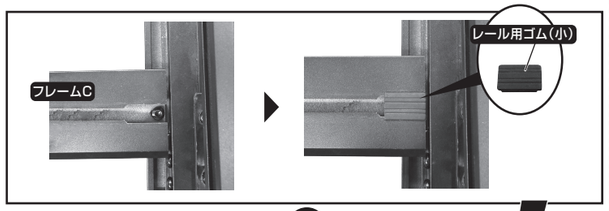


風切り板の取り付け位置は中央になるように調節して取り付けてください。
※中央にした場合、フレームAの長さより左右10mm程度はみ出た形になります。



レール用ゴムの取り付け

①本製品を表に向け、フレームC7本の両端のトルクスネジ(10mm)の上にレール用ゴム(小)をはめ込んでください。
※レール用ゴム(小)を入れる際は押し込みすぎないようご注意ください。レール用ゴム(小)がレールの中に入り込んでしまうおそれがあります。

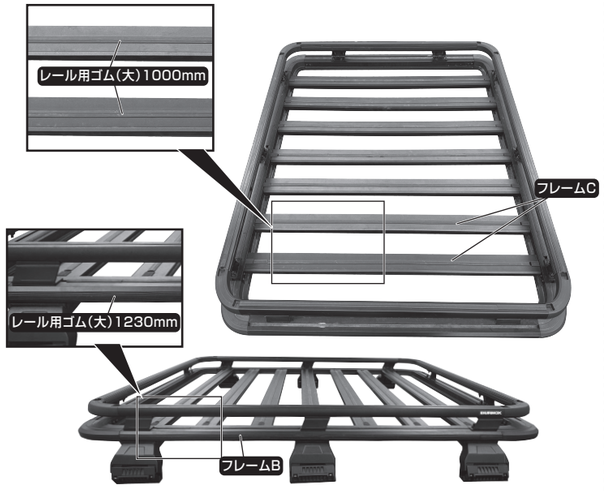




②組み立て前準備で裁断したレール用ゴム(大)を下図の位置のレールにはめ込んでください。
※レール用ゴムを入れる際は押し込みすぎないようご注意ください。レール用ゴムがレールの中に入り込んでしまうおそれがあります。

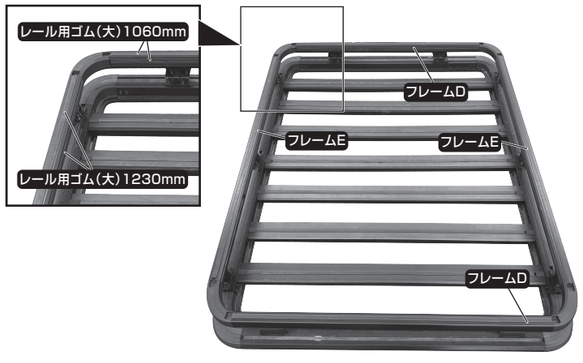
ベースの取り付け位置

●各フレームC上面の中央のレールそれぞれに1000mmに切ったレール用ゴム(大)を取り付けてください。
●各フレームBの外側側面に1230mmに切ったレール用ゴム(大)を取り付けてください。



フェンスの取り付け位置

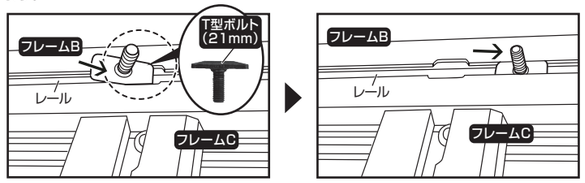
●各フレームDの上面と内側面に1060mmに切ったレール用ゴム(大)を取り付けてください。
●各フレームEの上面と内側面に1230mmに切ったレール用ゴム(大)を取り付けてください。



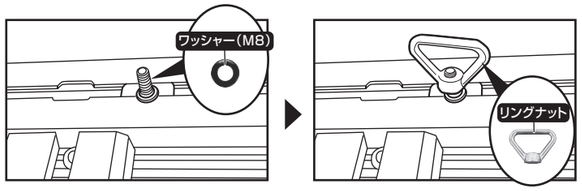
リングナットの取り付け

●リングナットの取り付けは必須ではありません。用途によってお好みでお取り付けください。

①取り付けたい箇所のレールにT型ボルト(21mm)を通し、取り付けたい箇所までスライドさせます。

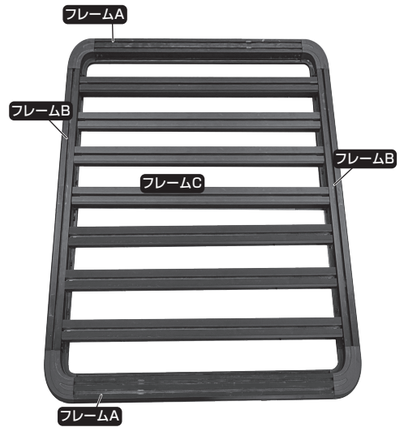


②ワッシャーを取り付け、リングナットで固定します。



リングナットの取り付け位置

●リングナットは下図のレールに取り付け可能です。
●本製品組み立て後の接続部分や車体に緩衝しないレールの位置であればお好みの位置に取り付け可能です。



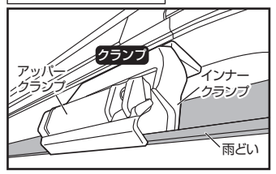
【ベース】
フレームA：上面のレール、側面のレール
フレームB：上面のレール、側面のレール
フレームC：上面中央のレール
※フレームCに取り付ける場合は、両端のボルト穴上にあるレール部分の幅が広くなっているところからT型ボルト(21mm)を入れてください。
※場所によっては事前にT型ボルト(21mm)を入れる必要があります。

4 車体への取り付け

※本製品の車体への取り付けは平らなところで必ずエンジンを切って、パーキングブレーキをかけた状態で行なってください。
※事前にインナークランプとアッパークランプを繋ぐボルトが緩んでいて、アッパークランプが動くことを確認してください。

①組み立てた本製品を表側を上にして、車体に乗せてください。
※車体に本製品を載せる作業は必ず二人以上で行ってください。

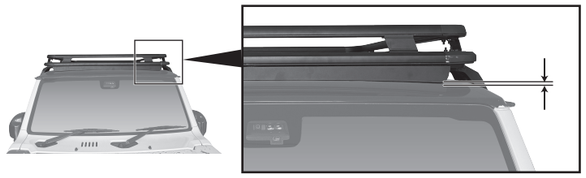
クランプ車体取り付け



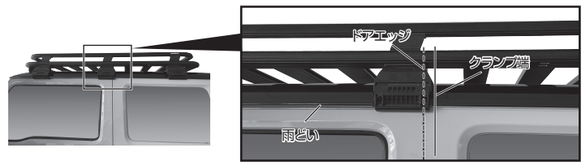
●クランプのインナークランプ部分を車体の雨ドイ内側に差し込むようにして設置し、インナークランプとアッパークランプで雨どいを挟み込んでください。

注意 本製品を車両ルーフに載せる際、車両にキズがつかないようご注意ください。

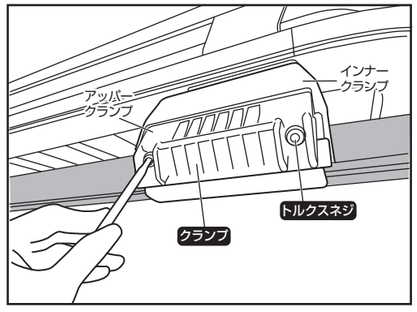
【正面】
●車体正面から見て、風切り板が車体天井部に当たらない位置に前後の位置を調節してください。
※天井部との隙間が狭すぎる場合、走行時の振動で天井部に接触する場合がございます。
※代表的な組み立て工程および車体構成に基づいていますが、実際の工程や車体仕様によって下図の位置とは異なる場合があります。



【側面】
●車体側面から見て、中央のクランプの位置が下図の位置になるように位置を調節してください。
※代表的な組み立て工程および車体構成に基づいていますが、実際の工程や車体仕様によって下図の位置とは異なる場合があります。



②アッパークランプにあるトルクスネジをしっかりと締めて本製品と車体と固定し、完成です。
※クランプ1つにつき、2箇所トルクスネジで固定してください。
※トルクスネジの固定にはトルクスレンチを使用してください。



POINT! **※ボルト、ナットをしっかりと締めてください。また定期的に増し締めをしてください。**

完成

【横方向】



【上面】



動画でトリセツ
スマホカメラでQRをスキャン
動画でも取り付け方法をご紹介しています。
QRコードからご確認ください。

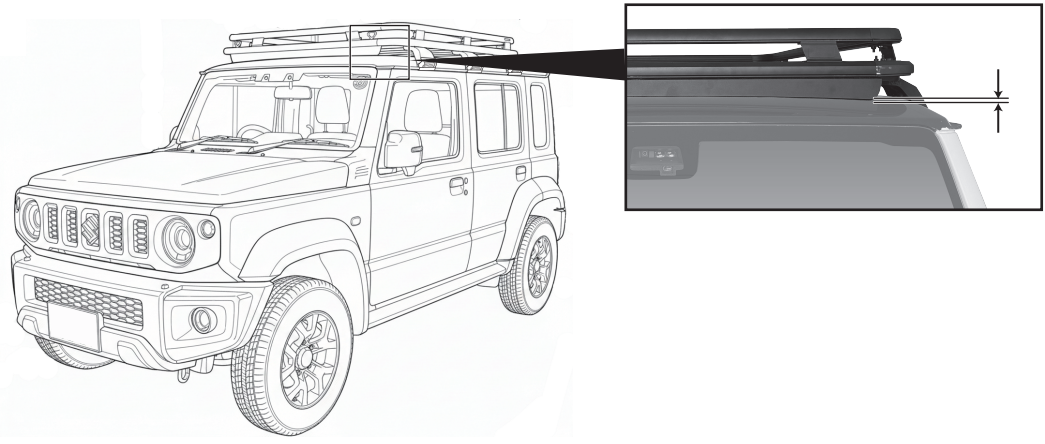
本製品に関するお問い合わせは
受付時間/AM10:00～PM5:30
月曜日～金曜日(祝日休業)
〒273-0016 千葉県船橋市潮見町6−1
☎0570(039)710

ジムニーノマド(JC74W)取り付けの場合

※取り付け作業工程はスズキ・ジムニー(JB64/74)と同様です。
※本製品の車体への取り付けは平らなところで必ずエンジンを切って、パーキングブレーキをかけた状態で行なってください。
※事前にインナークランプとアッパークランプを繋ぐボルトが緩んでいて、アッパークランプが動くことを確認してください。

取り付け位置について

【正面】
●車体正面から見て、風切り板が車体天井部に当たらない位置に前後の位置を調節してください。
※天井部との隙間が狭すぎる場合、走行時の振動で天井部に接触する場合がございます。
※代表的な組み立て工程および車体構成に基づいていますが、実際の工程や車体仕様によって下図の位置とは異なる場合があります。



【側面】
●車体側面から見て、本製品の位置が下図の位置になるように位置を調節してください。
　後席ドアの後方の線状を目安に本製品の後ろ側を合わせ、取り付けてください。
※前方の風切り版が屋根に当たらないよう注意してください。
※代表的な組み立て工程および車体構成に基づいていますが、実際の工程や車体仕様によって下図の位置とは異なる場合があります。

